

## 令和4年度 学校評価の結果について

令和4年度の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。その集計結果を、下記のようにお知らせいたします。

保護者に関しては、多くの項目で「そう思う」「ややそう思う」が60%をこえる回答をいただきましたが、50%に届かない項目もありました。今回の結果をもとに、よりよい大藤小学校を目指して改善に努めてまいります。

### 1 環境・安全について

「コロナへ感染予防対策に適切に対応している」「よりよい生活習慣を身につけるための指導をしている」については、「そう思う」「やや思う」が70%をこえました。しかし、「学校の施設や設備」「登下校の安全」については、「どちらでもない」「あまり思わない」「そう思わない」が合わせて40%をこえました。

登下校については、毎日多くの保護者や地域の方々に見守っていただき、ありがとうございます。「安全に登下校できている」について、児童の評価としては、「そう思う」が63%、「ややそう思う」が26%であり、児童の意識は高く、安全に登下校できていると考えていることが分かりました。保護者や教師の評価は低く、意識の差がみられました。この意識の差を埋めるとともに、安全な登下校について子どもたちとともに考えていく必要があります。

学校の施設や設備については、市当局と相談しながら、すすめていきたいと思っております。

### 2 生活について

「あいさつができる」については、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて48%、「相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動」については、「そう思う」「ややそう思う」が52%でした。

「学校が楽しいと言っている」「先生は、子どもの話を聞いている」「先生は、家庭への連絡をしている」「望ましい食習慣の指導をしている」については「そう思う」「ややそう思う」が70%～80%でした。

「あいさつ」や「登下校」について、児童の評価は「そう思う」「ややそう思う」が80%をこえ、保護者と教師の評価の差が大きくなりました。児童は、あいさつができていると考えていることから、児童があいさつできているときには認め、よりよいあいさつについて意識させたいと思っております。

### 3 学習・行事について

「楽しく、分かりやすい授業」と「その学年の基礎基本を身に付けている」については、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて60%をこえました。

「子どもは本をよく読んでいる」については「あまり思わない」「そう思わない」が合わせて44%でした。

「自分の思いを言葉で伝える力」「聞く姿勢」については、「そう思う」「ややそう思う」が50%をこえました。

「学校行事について、感染予防に配慮しながら実施している」については、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて92%でした。

児童は「本をよく読んでいる」について、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて77%と評価しており、保護者の評価と差がありました。家庭では本を読んでいるとは言えないかもしれませんが、毎日の朝の読書の時間には、子どもたちは本を持ち、静かに読書することができています。今後も朝の読書の時間を大切にしていきます。

「自分の思いを言葉で伝える力」については、教師の評価も低く、今後の課題のひとつとして挙げられます。

学校行事については、今後も制約があると思いますが、児童の活動を確保しながらよりよい活動につながるように、進めていきます。

### 4 連携・その他

「学校の様子をホームページやたよりで伝えている」「病気やけがに適切に対応している」については、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて80%をこえました。

「気軽に相談できる」「子どもの思いや悩みに耳を傾けている」については「そう思う」「ややそう思う」が合わせて60%をこえました。

「ホームページやたよりで伝えている」「病気やけがに適切に対応している」については、高評価をいただきました。今後も子どもたちの様子を情報発信したり、児童の病気やけがの対応に適切に対応したりできるように努めてまいります。

「気軽に相談できる」「子どもの思いや悩みに耳を傾けている」については、改善に努め、保護者と学校が協力し、児童の健やかな成長を促していきたいと思っております。

児童に関しては、80%をこえる項目が多数あり、児童が学校生活に前向きに取り組んでいる様子が分かりました。80%をこえているから「大丈夫」とするのではなく、児童一人一人の様子をきちんとみていくことが大切だと思います。保護者の皆様と連携しながら、様々な活動ができればよいと思っております。今後もよろしくお願いいたします。